

YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

YA 通信

№72 2016年11月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代
=10代のみなさんのための
読書情報誌です。
ご紹介する本は特に記載が
ない限り、図書館3階YA
コーナー所蔵です。



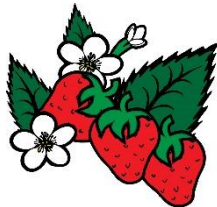
『歌舞伎一年生』 中川右介/著 筑摩書房 77/
カ/16

皆さんは歌舞伎と言うものを観たことはありますか？最近では歌舞伎役者がドラマやバラエティー番組に出演することも増えましたし、歌舞伎をテーマにした映画や小説、漫画もありますから、どんなことをやっているのかということはなんとなく知っているという人は多いでしょう。ただ、実際に観たことがある人はどのくらいいるでしょうか。

さて、この本は、なんとなく歌舞伎に興味がある、けど今まで観たことはない、と言う人に向けて書かれています。歌舞伎って何処でやってるの？チケット何処で買うの？どうやって観たらいい？そんな疑問に答えてくれます。歌舞伎に興味があるなんて人はぜひ読んでみてください。



名作だからばこ



『西の魔女が死んだ』 梨木 香歩/著 新潮社 F/ナシ/16

中学1年生のまいは、ある日どうしても学校へ足が向かなくなり、西の魔女（英国人の祖母）のもとで過ごすことに。そこで魔女になるための修行を始めます。魔女の修行は、魔法の使い方ではなく、なんでも自分で決めること。まいは、修行を通して生きる力をつけていきます。ところがあつたことで祖母とぶつかり、わだかまりを残したまま、まいは両親との生活に戻ります。人は死んだらどうなるのか・・・「生」と「死」について、ちょっと考えてみませんか？

教科

学校の授業は好きですか？良くも悪くも学校の授業は学問の入口。好きになった人も嫌いな人も、入口の先を見てみれば、今よりもっと興味深い世界が広がっていますよ。



『栄養素キャラクター図鑑』 田中 明/監修 日本図書センター 49/エ/14 3階児童

私たちが毎日を元気に過ごすために必要な栄養素。「タンパク質」「ビタミン」など名前は知っていても何がどう必要なのなかなか詳しく知っている人は少ないと思います。

この本は可愛いイラストとともに栄養素のことが分かりやすくまとめられていて、不足または、とりすぎるとどうなるのかまで詳しく書かれています。

『古典を読みましょう』 橋本 治/著 筑摩書房 91/チク/14

古典は何が書かれているかよくわからない上に、動詞の活用や古文単語の暗記も必要でつまらないなあ、と思っていませんか？そんな方におすすめの一冊です。この本は、有名な古典作品を題材に、なぜわかりにくいのかを丁寧に紐解いています。読むと、古典の正体がだんだん見えてきて、こんなことが書かれていたのか、と面白くなってきます。古文単語帳はいったん置いて、この本を。自由で豊かな古典の世界が待っています。



『知識ゼロからの書道あそび文字入門』 武田 双雲/著 幻冬舎 S00/チ/14 4階書道

書道と聞くと、何をイメージしますか？難しいとか、お手本どおりに書かなくてはいけないというイメージの方も多いのではないのでしょうか？

この本では、基本のおさらいとともに「字をきれいに書く」という概念にとらわれない、「あそび文字」を取りあげ、文字を自由に捉え、楽しみ、たしなむ方法が紹介されています。身近なものを使って、イメージをふくらませたら、ワクワクする書道を楽しんでみませんか？



『10代からの情報キャッチボール入門』 下村健一/著 岩波書店 36/シ/15

みんなは知りたいこと、伝えたいことはどうやっていますか？各家庭にパソコンがあって、スマートフォンがたくさん普及している今、情報のやり取りは驚くほどすばやく広域かつ大量に行うことができるようになりました。でもちょっと考えてください。その情報、本当に大丈夫ですか？

情報を大量に受け取り発信できる今、情報が正しいのか、また正しく伝えることができるのかということが重要になっています。この本にはそんな情報の見方、扱い方について書かれています。自分は大丈夫、なんて思っているそこのあなたも一度読んでみてはいかがでしょうか？



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『海の島 ステフィとネッリの物語』 アニカ・トール/著 菱木晃子/訳
新宿書房 94/シン/06



「ステフとネッリの物語 4 部作」の 1 作目。

12 歳と 7 歳のユダヤ人姉妹は、人種差別と戦争のため親元を離れ、スエーデンの港町に逃れてきます。言葉も通じない里親との暮らし、改宗、不確かな未来。

確かな手ごたえで、想像できないもどかしさを感じながら、著者のメッセージ、

- 人には皆、平和に生きる権利があり、そして人にはだれも、人間として同じ価値をもっている、と私は信じています -

の言葉を受け止めて、姉妹の孤独を、成長を、読ませてもらいました。

話のタネに！



11月3日は文化の日。今から70年前のこの日、日本国憲法は公布されました。ところで、皆さんは憲法についてどれくらい知っていますか？最近では、憲法改正に関する政治の動きが注目されていますね。詳しいことはよくわからないなあ、と思ったら、今回紹介する本を読んでみてはいかがでしょうか。



『日本という国』 小熊 英二/著 100%ORANGE/装画・挿画 理論社
21/ニ/06

憲法を知ろう！とは言うものの、イマイチ興味が持てないと思ったら、まず日本の歴史を振り返ってみませんか。福沢諭吉の『学問のすすめ』を読み解く所から始まるこの本。教科書の記述だけからは見えてこない日本の近現代史が浮かび上がってきます。



『日本のもと 憲法』 宮崎 哲弥/監修 講談社 30/ニ/11

対話形式の解説で読みやすいです。憲法とはどのようなものか、その概要を知ることができます。憲法のルーツとなった、イギリス・アメリカ・フランスの歴史も学べます。



『憲法読本』 杉原 泰雄/著 岩波書店 32/ケ/14

もっと詳しく憲法を知るにはこの1冊！憲法の各章に何が書かれているのか、しっかりと学ぶことができます。参考文献も多数掲載されており、入門書としておすすめです。YA 世代だけでなく、憲法を学びたい大人にも手に取ってほしいです。



YA担当イチオシ!

『幽霊塔』

江戸川乱歩/著 岩波書店 F/エト/15

4階一般

どんな本?

長崎の片田舎、時計塔のあるいわくつきの古風な西洋館で、血気盛んな青年・北川光雄は魅力的な女性・野末秋子と出会うが、これを機に次々と事件に巻きこまれていく...

ここがオススメ!

江戸川乱歩といえは某有名アニメの主人公に付けられた名前。最初は名前からして難しそうだなと思いつつもカラー口絵が宮崎駿だからという理由で読み始めました。が、カラーを読み終わって、本編を読み出すと面白く一気に読み終わりました。なぜ、江戸川乱歩を今まで読まなかったのだろうと思うくらい。

ところどころにいや〜な描写もありますが、それも含めて面白いので同じように難しそうと思っている人にも読んでほしい1冊です。

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

※表紙画像の掲載にあたっては出版社に許諾を得ています。

「読書手帳」を作りました。

図書館では読書手帳を作成しました。ホームページからダウンロードすることができますので、ぜひ使ってください。

http://www.kasugai-lib.jp/?page_id=156

春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL (0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

ケータイサイトはQRコードから→

